



2024年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年4月12日

上場会社名 株式会社テンダ 上場取引所 東
 コード番号 4198 URL <https://www.tenda.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO (氏名) 小林 謙
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員COO、CFO (氏名) 藺部 晃 (TEL) 03-3590-4150
 四半期報告書提出予定日 2024年4月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第3四半期の連結業績(2023年6月1日~2024年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|------|------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年5月期第3四半期 | 3,523 | 15.6 | 335 | 3.4 | 335 | 10.5 | 198 | 22.2 |
| 2023年5月期第3四半期 | 3,047 | 27.1 | 324 | 31.6 | 303 | 28.4 | 162 | 4.8 |

(注) 包括利益 2024年5月期第3四半期 201百万円(23.4%) 2023年5月期第3四半期 163百万円(4.4%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年5月期第3四半期 | 91.15 | 89.54 |
| 2023年5月期第3四半期 | 75.05 | 73.79 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年5月期第3四半期 | 3,857 | 2,418 | 62.7 |
| 2023年5月期 | 3,221 | 2,289 | 71.1 |

(参考) 自己資本 2024年5月期第3四半期 2,418百万円 2023年5月期 2,289百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年5月期 | — | 0.00 | — | 40.00 | 40.00 |
| 2024年5月期 | — | 0.00 | — | | |
| 2024年5月期(予想) | | | | 50.00 | 50.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年5月期の連結業績予想(2023年6月1日~2024年5月31日)

(％表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|------|------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 5,100 | 20.4 | 510 | 12.0 | 510 | 16.7 | 330 | 23.7 | 152.11 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 2024年5月期3Q | 2,184,200株 | 2023年5月期 | 2,169,500株 |
| 2024年5月期3Q | 33株 | 2023年5月期 | —株 |
| 2024年5月期3Q | 2,182,700株 | 2023年5月期3Q | 2,169,340株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| (重要な後発事象) | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年6月1日～2024年2月29日)における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する中、各種政策が奏功し緩やかな回復が続きました。一方で、地政学的リスクの長期化や円安、原材料価格及びエネルギー価格の上昇による物価高もあり、依然として先行き不透明な状況下で推移いたしました。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、AI活用によるDXの実現スピードの加速、既存システムのクラウドシステム移行、ローコード/ノーコード(※1)の活用・一般化等を背景に、ビジネスへの参入機会の増加・拡大が継続しております。ゲームコンテンツ事業が属するゲーム市場は、コンテンツサービスの多様化を背景に市場規模は拡大傾向にあり、ユーザーを引き付ける魅力的並びなコンテンツの追求やサービス内容の複雑化・高度化がより顕著となり、開発費の増加やその期間の長期化という傾向が継続しております。

このような状況の下、当社グループは、成長戦略のひとつであるM&A戦略を実行し、2023年12月にはリーサコンサルティング株式会社並びに株式会社Skysartsを、2024年1月には株式会社X-VERSE PLUSをそれぞれ連結子会社化する等、グループの規模拡大に向けた各種施策に積極的に取り組んでまいりました。なお、新たに連結子会社となったリーサコンサルティング株式会社の業績は、当第3四半期連結会計期間の12月より、株式会社X-VERSE PLUS並びに株式会社Skysartsの業績は、同連結会計期間の1月より計上しております。

加えて当社は、2024年2月1日に経済産業省が定める「DX認定事業者」(※2)となりました。今後も引き続きお客様の利益創造及び社会に貢献する企業グループを目指してまいります。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は3,523百万円(前年同四半期比15.6%増)、営業利益は335百万円(前年同四半期比3.4%増)、経常利益は335百万円(前年同四半期比10.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は198百万円(前年同四半期比22.2%増)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

(ITソリューション事業)

ITソリューション事業につきましては、売上高は2,693百万円(前年同四半期比11.7%増)、セグメント利益は686百万円(前年同四半期比14.0%増)となりました。

IT開発の内製化トレンドを事業機会ととらえ、「内製化支援ラボ」・「内製化支援のためのローコード・ノーコード」・「内製化のためのMicrosoft利活用」を引き続き推進してまいりました。

当社は、Microsoft 365の先駆けとなるシステムから15年以上にわたり積み上げた専門性の高い支援実績を保有しております。また、Amazon Web Services(AWS)のコンサルティングパートナー・セレクトティアに認定されております。現在、デジタル庁が「ガバメントクラウド」(※3)及び「ガバメントソリューションサービス」

(※4)を推進しておりますが、その主目的は、行政機関の効率化、セキュリティの強化及び遠隔作業のサポート充実にあり、Microsoft Azure及びAWSが「ガバメントクラウド」の対象クラウドサービスの一つとして選定されております。こうした国策とSI領域における確実なリソース調達力、技術基盤を背景により、当社は単独もしくはパートナー企業様との協業による公共セクター支援を実施しており、足元におきましても、「ガバメントクラウド」及び「ガバメントソリューションサービス」に関連する複数のプロジェクトに参画しております。

(ビジネスプロダクト事業)

ビジネスプロダクト事業につきましては、引き続き積極的な営業戦略を計画的に推進するものの堅調であった前年同期に至ることなく、売上高は390百万円(前年同四半期比8.0%減)、セグメント利益は88百万円(前年同四半期比31.8%減)の減収減益となりました。

マニュアルトータルソリューションの推進をキーワードに、製品の導入から実際のマニュアル作成支援までを一貫して行うなどのサービスを強化し、戦略的パートナーシップ契約をはじめとする営業領域拡大を推進いたしました。

また、自社プロダクト製品「Dojo」(※5)シリーズに続く次世代製品開発にも積極投資を行っております。具体的には、生成AIの影響力拡大をビジネスチャンスととらえ、自社プロダクト製品「Dojoウェブマニュアル」に生成AIを活用した各種機能(マニュアル作成の自動化)の実装、リリースが完了しております。

(ゲームコンテンツ事業)

ゲームコンテンツ事業につきましては、売上高は421百万円（前年同四半期比99.6%増）、セグメント利益は53百万円（前年同四半期比535.1%増）となりました。

当社のゲームコンテンツ部門と昨年連結子会社化した有限会社熱中日和を統合し、新たに株式会社テンダゲームスとし組織的な営業強化を行うことで大手ゲーム会社からの受注獲得に注力いたしました。また、株式会社ヤマダデンキが運営するゲームプラットフォーム「ヤマダゲーム」へのサービス提供が順調に推移しており、引き続き協業領域の拡大推進を目指しながら「ヤマダゲーム」利用者様の満足度向上へのご支援を継続してまいります。

株式会社Skysarsは、コンシューマーゲームからネイティブアプリまで、幅広い顧客層をターゲットとしたゲームエフェクトに特化した事業を展開しており、業界屈指の技術力を特徴としております。中でも同社が得意とするリアルタイムなエフェクト調整技術は、ゲーム市場において高度な専門性が要求されることから参入障壁が高い分野であり、マーケットニーズを背景に人材不足が常態化しております。同社の連結子会社化により、従来当社グループが保有するゲームの長期運営ノウハウとデベロッパー機能に、特徴ある技術領域（ゲームエフェクト・VFX分野）を取り込むことができ、企画デザイン、システム構築&運用、ユーザーサポート、プロモーション、分析までワンストップで実現することが可能となりました。

さらに、株式会社X-VERSE PLUSのIP（知的財産）を用いたビジネスが付加価値として加わることで、新たな市場へのリーチが可能となりました。株式会社テンダゲームスが展開してまいりましたゲーム開発・運営などの事業領域にIPビジネスを融合させることにより、新たな価値と体験を創出すると共に、世界に楽しみや感動を届けたいと思います。

(※1) ローコード/ノーコード：アプリケーションやシステム開発において、プログラミングの専門知識を必要とせず、コードを書かないか、少ないコードで開発できる手法。

(※2) DX 認定制度：2020年5月15日に施行された「情報処理の促進に関する法律の一部を改正する法律」に基づく制度。

<参照URL>https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/investment/dx-nintei/dx-nintei.html

(※3) ガバメントクラウド：政府共通のクラウドサービスの利用環境。

(※4) ガバメントソリューションサービス：政府共通の標準的な業務実施環境（パーソナルコンピュータやネットワーク環境）の提供。

(※5) Dojo（ドージョー）：マニュアルの自動作成・共有・更新がかんたんにできる自社開発ツール。累計導入社数は3,000社超。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態については、次のとおりであります。

① 資産の部

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ635百万円増加し、3,857百万円となりました。

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ87百万円増加し、2,811百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少が350百万円あったこと、受取手形、売掛金及び契約資産の増加が219百万円あったこと、仕掛品の増加が54百万円あったこと、その他の増加が167百万円あったこと等によるものであります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べ547百万円増加し、1,045百万円となりました。これは有形固定資産の増加が42百万円あったこと、ソフトウェアの増加が15百万円あったこと、のれんの増加が457百万円あったこと、投資その他の資産の増加が32百万円あったことによるものであります。

② 負債の部

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ506百万円増加し、1,438百万円となりました。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ516百万円増加し、1,266百万円となりました。これは主に買掛金の増加が97百万円あったこと、短期借入金の増加が200百万円あったこと、前受収益の増加が43百万円あったこと、その他の増加が178百万円あったこと等によるものであります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べ9百万円減少し、172百万円となりました。これは長期借入金の減少が27百万円あったこと、その他の増加が17百万円あったことによるものであります。

③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ128百万円増加し、2,418百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を198百万円計上したこと、剰余金の配当を86百万円行ったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年1月12日の「2024年5月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

今後、連結業績予想に修正がある場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年5月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2024年2月29日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,095,715 | 1,744,804 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 572,720 | 791,828 |
| 商品 | 2,304 | 2,859 |
| 仕掛品 | 15,740 | 70,735 |
| 貯蔵品 | 240 | 451 |
| その他 | 41,083 | 208,377 |
| 貸倒引当金 | △4,339 | △7,619 |
| 流動資産合計 | 2,723,465 | 2,811,437 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 18,683 | 61,237 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 89,267 | 104,559 |
| のれん | 185,144 | 642,431 |
| その他 | 242 | 242 |
| 無形固定資産合計 | 274,654 | 747,232 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 206,458 | 237,472 |
| 貸倒引当金 | △1,291 | — |
| 投資その他の資産合計 | 205,166 | 237,472 |
| 固定資産合計 | 498,503 | 1,045,942 |
| 資産合計 | 3,221,969 | 3,857,380 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年5月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2024年2月29日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 139,334 | 237,316 |
| 短期借入金 | 50,000 | 250,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 118,272 | 111,842 |
| 未払法人税等 | 93,298 | 93,475 |
| 前受収益 | 162,060 | 205,923 |
| 賞与引当金 | 7,062 | 8,211 |
| 受注損失引当金 | — | 974 |
| その他 | 180,087 | 358,622 |
| 流動負債合計 | 750,115 | 1,266,366 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 155,036 | 127,751 |
| その他 | 27,120 | 44,584 |
| 固定負債合計 | 182,156 | 172,335 |
| 負債合計 | 932,272 | 1,438,702 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 306,017 | 312,977 |
| 資本剰余金 | 772,598 | 779,558 |
| 利益剰余金 | 1,194,011 | 1,306,186 |
| 自己株式 | — | △62 |
| 株主資本合計 | 2,272,627 | 2,398,660 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | 17,069 | 20,017 |
| その他の包括利益累計額合計 | 17,069 | 20,017 |
| 純資産合計 | 2,289,696 | 2,418,678 |
| 負債純資産合計 | 3,221,969 | 3,857,380 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 3,047,861 | 3,523,852 |
| 売上原価 | 1,896,556 | 2,123,818 |
| 売上総利益 | 1,151,304 | 1,400,034 |
| 販売費及び一般管理費 | 826,854 | 1,064,518 |
| 営業利益 | 324,450 | 335,515 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 260 | 171 |
| 助成金収入 | 3,042 | 4,211 |
| 家賃収入 | — | 1,465 |
| 事業譲渡益 | 1,852 | — |
| その他 | 1,912 | 593 |
| 営業外収益合計 | 7,067 | 6,443 |
| 営業外費用 | | |
| 地代家賃 | 16,564 | — |
| 支払利息 | 1,545 | 1,397 |
| 為替差損 | 5,595 | 2,895 |
| 会員権評価損 | 2,673 | 1,750 |
| その他 | 1,410 | 263 |
| 営業外費用合計 | 27,789 | 6,306 |
| 経常利益 | 303,727 | 335,652 |
| 特別損失 | | |
| 訴訟関連損失 | 6,800 | — |
| 特別損失合計 | 6,800 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 296,927 | 335,652 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 114,103 | 133,249 |
| 法人税等調整額 | 20,023 | 3,448 |
| 法人税等合計 | 134,127 | 136,697 |
| 四半期純利益 | 162,800 | 198,955 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | — | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 162,800 | 198,955 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 162,800 | 198,955 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | 881 | 2,948 |
| その他の包括利益合計 | 881 | 2,948 |
| 四半期包括利益 | 163,681 | 201,903 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 163,681 | 201,903 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-------------|-------------|------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | ITソリューション事業 | ビジネスプロダクト事業 | ゲームコンテンツ事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,412,003 | 424,539 | 211,317 | 3,047,861 | — | 3,047,861 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 7,240 | 300 | — | 7,540 | △7,540 | — |
| 計 | 2,419,244 | 424,839 | 211,317 | 3,055,401 | △7,540 | 3,047,861 |
| セグメント利益 | 602,272 | 129,939 | 8,397 | 740,609 | △416,159 | 324,450 |

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△416,159千円は、セグメント間取引消去17,547千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△433,706千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第1四半期連結会計期間において、三友テクノロジー株式会社を連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「ITソリューション事業」のセグメント資産が363,598千円増加しております。

また、当第3四半期連結会計期間において、有限会社熱中日和を連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「ゲームコンテンツ事業」のセグメント資産が164,459千円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の著しい増加)

第1四半期連結会計期間において、三友テクノロジー株式会社を連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「ITソリューション事業」において、のれんが148,255千円増加しております。

また、当第3四半期連結会計期間において、有限会社熱中日和を連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「ゲームコンテンツ事業」において、のれんが45,563千円増加しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|-------------|-------------|------------|-----------|--------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | ITソリューション事業 | ビジネスプロダクト事業 | ゲームコンテンツ事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,693,033 | 390,529 | 421,750 | 3,505,313 | 18,539 | 3,523,852 | — | 3,523,852 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 6,503 | 270 | 2,425 | 9,198 | — | 9,198 | △9,198 | — |
| 計 | 2,699,536 | 390,799 | 424,175 | 3,514,511 | 18,539 | 3,533,050 | △9,198 | 3,523,852 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 686,855 | 88,580 | 53,336 | 828,772 | △13,170 | 815,602 | △480,086 | 335,515 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食・スタジオ事業であります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△480,086千円は、セグメント間取引消去23,576千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△503,663千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第3四半期連結会計期間において、リーサコンサルティング株式会社を連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「ITソリューション事業」のセグメント資産が777,042千円増加しております。

また、当第3四半期連結会計期間において、株式会社Skyarts及び株式会社X-VERSE PLUSを連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「ゲームコンテンツ事業」のセグメント資産が641,934千円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、リーサコンサルティング株式会社を連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「ITソリューション事業」において、のれんが138,519千円増加しております。

また、当第3四半期連結会計期間において、株式会社Skyarts及び株式会社X-VERSE PLUSを連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「ゲームコンテンツ事業」において、のれんが344,787千円増加しております。

なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(重要な後発事象)

株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更

当社は、2024年4月12日開催の取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行うことについて決議いたしました。

1. 株式分割について

(1) 株式分割の目的

新たな制度改革(新NISAの導入等)を契機に、投資単位当たりの金額を引き下げ、または株式流通量の増加による投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大と当社株式の流動性の向上を図ることを主眼としております。

(2) 分割の方法

2024年5月31日(金)を基準日とし、同日最終の株主名簿に記録された株主の所有する普通株式を1株につき3株の割合をもって分割いたします。

(3) 分割により増加する株式数

- ① 株式分割前の発行済株式総数 2,184,200株
- ② 今回の分割により増加する株式数 4,368,400株
- ③ 株式分割後の発行済株式総数 6,552,600株
- ④ 株式分割後の発行可能株式総数 24,000,000株

(注) 上記の発行済株式総数及び増加する株式数は、2024年2月29日時点の発行済株式総数により記載しているものであり、株式分割の基準日までの間に新株予約権の行使等により変動する可能性があります。

(4) 分割の日程

- ① 基準日公告日 2024年5月16日(木曜日) (予定)
- ② 基準日 2024年5月31日(金曜日)
- ③ 効力発生日 2024年6月1日(土曜日)

(5) 1株当たり情報に及ぼす影響

前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合における(1株当たり情報)の各数値はそれぞれ次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日) |
|--------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益 | 25円02銭 | 30円38銭 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 | 24円60銭 | 29円85銭 |

2. 株式分割に伴う定款の一部変更

(1) 定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2024年6月1日を効力発生日として当社定款の一部を変更いたします。

(2) 変更の内容

変更の内容は以下のとおりです。(下線は変更部分を示しております。)

| 変更前 | 変更後 |
|--|--|
| (発行可能株式総数) 第6条 当会社の発行可能株式総数は、 <u>800</u> 万株とする。 | (発行可能株式総数) 第6条 当会社の発行可能株式総数は、 <u>2,400</u> 万株とする。 |

(3) 定款変更の日程

定款変更の効力発生日 2024年6月1日(土曜日)

3. その他

(1) 資本金の額の変更

今回の株式分割に際し、当社の資本金の額の変更はありません。

(2) 配当について

今回の株式分割は、2024年6月1日を効力発生日としておりますので、2024年5月31日(金曜日)を基準日と

する2024年5月期の期末配当金につきましては、株式分割前の株式数が対象となります。

(3) 新株予約権行使価額の調整

今回の株式分割に伴い、当社発行の新株予約権の1株当たりの行使価額を、2024年6月1日以降、以下のとおり調整いたします。

| 新株予約権の名称 | 取締役会決議日 | 調整前行使価額 | 調整後行使価額 |
|----------|-------------|---------|---------|
| 第2回新株予約権 | 2019年4月12日 | 923円 | 308円 |
| 第3回新株予約権 | 2019年12月26日 | 1,130円 | 377円 |